

株式会社 J R 東日本ステーションサービス

代表取締役社長 森山 英彦 殿

J R 東日本輸送サービス労働組合

中央執行委員長 佐々木 宏充

2 0 2 5 年度夏季手当に関する申し入れ

昨年度は「JESS ビジョン 2027-MOVE-」の初年度として「JESS PRIDE」の構築に向けて始動した年でした。現場で働く私たちは、これまで築き上げてきた業務品質にさらなる磨きをかけるべく、安全レベルの向上、業務知識・スキルの向上、サービス品質の向上に努めてきました。特に、インバウンドや国内旅行需要が伸びていることから、鉄道を利用するお客さまが格段に増えている中で、多様なお客さまのニーズやお困りごとをいち早くキャッチし解決し、ご期待に応えることで「感動」をよび、J R 東日本グループへの信頼を築きあげてきました。さらに、JESS らしさを追求しつつ、生活ソリューション事業との融合と連携を図るなど「変革 2027」の実現に向けた努力を着実に進めているところです。

夏季手当については、2 0 2 4 年度期末決算では増収減益であったものの黒字決算の業績結果を鑑みれば、コロナ禍以降の黒字基調を堅実なものとしてきた組合員・社員の努力に要求満額で応えることは必然です。労働者を大切にしたい企業倫理、労働の価値の低下を招くことのない「働きがい」と「生きがい」を醸成させていくことが、安全・輸送サービス品質を高め、ひいては J R 東日本グループの企業価値創造に寄与するものであると考えます。

J R 東日本喜勢社長は「J R 東日本グループ年度経営方針 2 0 2 5」のなかで「これまでの当たり前を超える」とのメッセージを示し「イノベーションによりお客さまの感動を創造するとともに、事業活動を通じて、都市には都市の、地方には地方の社会課題にしっかりと向き合い、利益成長をしていきます。そして創出された利益は、お客さまや地域の皆さま、株主や投資家の方々、そしてグループ社員と家族の幸福の実現に還元するとともに、グループの未来の成長、発展にも通ずる『四方良しの経営』をさらに推進し、社会の進運を支える『志の高い企業グループ』へ進化していきましょう」と語られています。また、JESS 森山社長は「会社の持続的成長の源泉は、社員一人ひとりの成長である」と述べられています。社員一人ひとりの成長に対する適正な評価と対価なくして持続的成長はありません。これまでの当たり前を越えるとの強い意気込みを形にすることが求められており、すべての人の心豊かな生活の実現を果たしていただくことを強く要請します。

したがって、下記のとおり申し入れを行いますので、信義誠実対等の原則に従い秩序を保ち平和裡に行うことに踏まえて、回答にあつては丁寧かつ具体的に、団体交渉日程については速やかに調整し開催することを要請します。

記

1. 2025年度夏季手当については「真の笑顔と活気あふれる職場」を創造するために、基本給月額額の3.3ヶ月分（契約社員含む）を支給すること。
2. JR東日本ステーションサービスの持続的成長が図られる受託契約となる見直し協議を進めていくこと。なお、組合員・社員が、長きに渡り働き続けられ、将来に希望・展望をもてるよう情報開示等を積極的に行うこと。
3. この要求に対する回答については、2025年6月12日までにを行うこと。また、支払い指定日は、2025年6月27日までとすること。

以 上